

2012年3月期 第3四半期決算説明会資料

財務責任者
宮崎 秀樹

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。

※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

Executive Summary - 1

- 第3四半期累計実績は、国内たばこ事業における販売数量の減少等により減収、国内・海外たばこ事業における単価上昇効果等により、EBITDA・営業利益・経常利益・四半期純利益は増益
- 業績見込は、国内たばこ事業における販売数量見込を上方修正したことを主因として、売上高・EBITDA・当期純利益を上方修正、通期では対前年で減収増益となる見込
- 厳しい事業環境の中、「JT-11」の目標である全社EBITDA年平均5%成長を上回る見込

Executive Summary - 2

- 国内たばこ事業は販売数量の減少に伴い減収となるものの、単価上昇効果等により増益
年間販売数量前提の見直しにより業績予想を上方修正、対前年増益を見込む引き続き、シェア回復に取り組み、年度末3月時点で単月シェア60%を目指す
- 海外たばこ事業の1-12月速報値実績は、ドルベースEBITDAは対前年17.3%、為替中立ドルベースEBITDAは15.6%成長
- 医薬事業のパイプラインにおいて、1品目が新規臨床入り、2品目が国内に加えて海外でも臨床開始
業績予想は売上・EBITDAともに上方修正
- 食品事業は基幹ブランド「ルーツ」、ステープルが引き続き堅調に推移し第3四半期累計実績は増益
業績予想は売上を下方修正したもののEBITDAは変更なし

国内たばこ事業：2012年3月期 第3四半期累計実績

(単位:億本, 億円)	2010年 4-12月期	2011年 4-12月期	増減
販売数量	1,068	808	-24.3%
調整後売上高 ¹⁾	4,641	4,448	-4.2%
千本単価	4,335	5,497	+26.8%
EBITDA	1,851	2,123	+14.6%
営業利益	1,514	1,808	+19.4%

- 増税/定価改定影響および東日本大震災影響により 販売数量は24.3%減少
- 販売数量の減少に伴い減収となるものの、単価上昇効果等により増益

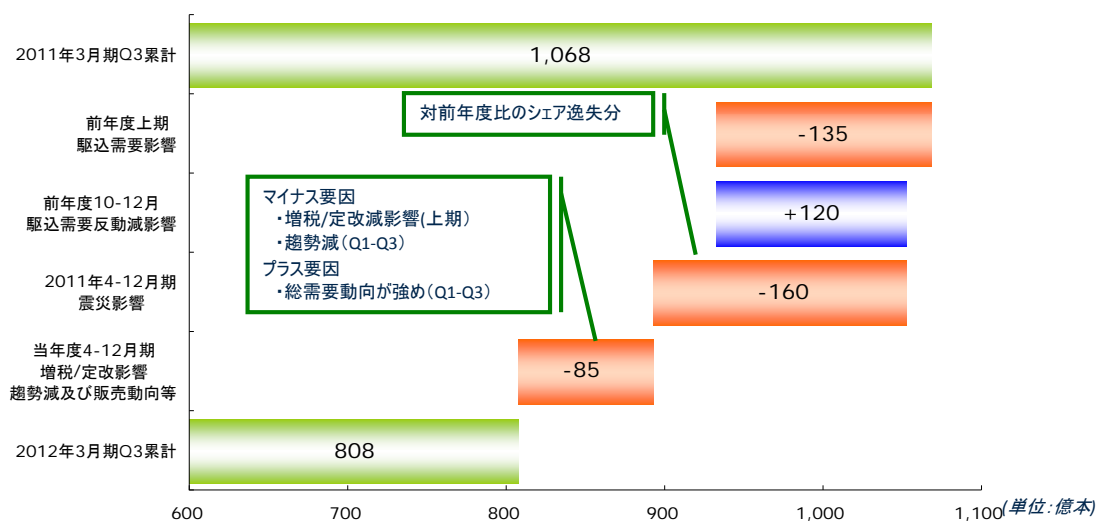
1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

5



国内たばこ事業：2012年3月期 第3四半期累計実績

【販売数量増減要因】



- 前年10月の増税定価改定影響および震災影響等により対前年同期比▲259億本

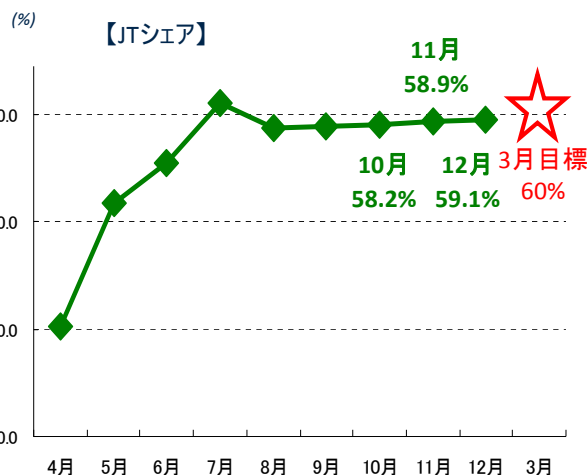
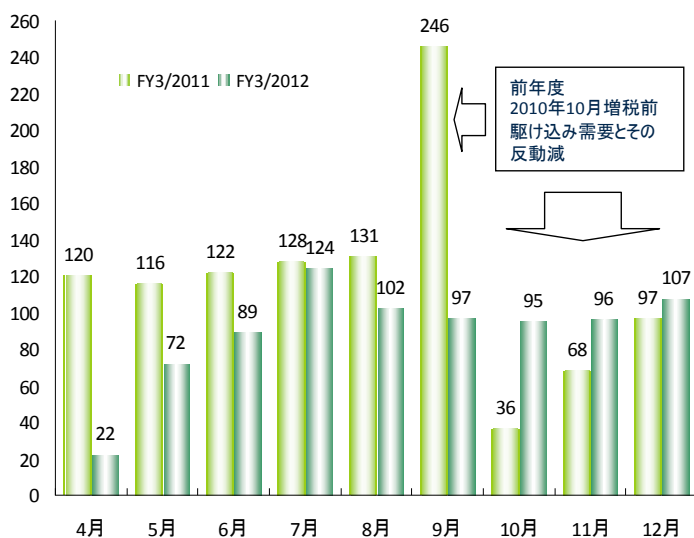
6



3

国内たばこ事業：震災影響からの着実な回復

【国内たばこ事業月別販売数量】
(単位:億本)



- 10-12月期の販売数量は前年同期に増税前駆け込み需要の反動減があったことにより相対的に回復
- JTシエアは着実に回復、年度末3月時点で単月シエア60%を目指す

国内たばこ事業：競争力向上の取組み

【新商品の投入・リニューアル】



＜スーパースリム商品＞
マイルドセブン・スタイルプラス・6
(1月中旬新発売)



＜スーパースリム商品＞
マイルドセブン・スタイルプラス・ワン
(1月中旬新発売)



＜新製品＞
マイルドセブン・
インパクトメンソール・ボックス
(3月上旬新発売)



＜プレステージ商品＞
ザ・ピース
(2月上旬新発売)
価格:1,000円



＜リニューアル＞
ピアノッシモ・ファミリー7銘柄
(1月中旬実施)



＜カプセル搭載＞
ピアノッシモ・
ヴィヴ・メンソール
(11月上旬新発売)



＜無煙たばこ＞
ゼロスタイル・ミント
(12月上旬リニューアル)



＜無煙たばこ＞
ゼロスタイル・ビターリーフ
(12月上旬新発売)

- 新商品の投入/リニューアル、お客様へのダイレクトアプローチによるキャンペーンおよび販売店様とのコラボレーション施策等を通じ競争力を強化

国内たばこ事業：2012年3月期 業績予想

	2011年3月期 実績	2012年3月期 前回見込	2012年3月期 今回見込	対前回見込 増減	対実績 増減率
(単位：億本、億円)	a	b	c	c-b	(c-a)/a
販売数量	1,346	1,030	1,080	+50	-19.8%
調整後売上高 ¹⁾	6,179	5,690	5,940	+250	-3.9%
EBITDA	2,576	2,440	2,660	+220	+3.2%
営業利益	2,129	1,990	2,220	+230	+4.3%

見込前提 総需要 約1,960億本
通期シェア 55%

- 販売数量見込を50億本上方修正
- 上記にともない売上高、EBITDAともに上方修正、増益見込

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

9

ひとの
ときを、
想う。 JT

海外たばこ事業 2012年3月期 第3四半期累計実績

(単位：億本、百万US\$)	2010年 1-9月期 ⁴⁾	2011年 1-9月期	増減
総販売数量 ¹⁾	3,195	3,196	+0.0%
GFB販売数量	1,851	1,927	+4.1%
調整後売上高 ²⁾	7,507	8,466	+12.8%
調整後千本当売上高 ³⁾ (US\$)	23.7	26.7	+12.7%
EBITDA	2,687	3,153	+17.3%
為替中立ベース調整後売上高 ²⁾	7,507	8,136	+8.4%
為替中立ベース調整後千本当売上高 ³⁾ (US\$)	23.7	25.7	+8.3%
為替中立ベースEBITDA	2,687	3,051	+13.5%
(単位：億円)			
円ベースEBITDA	2,405	2,540	+5.6%

- 好調なトップライン成長によりドルベースEBITDAは17.3%成長、為替中立でも13.5%成長

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除

3) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないUV販売数量を控除

4) IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

海外たばこ事業 : 2012年3月期 速報

	2010年 実績 ³⁾ a	2011年 前回見込 b	2011年 速報 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減率 (c-a)/a
(単位: 億本、百万 US\$)					
総販売数量 ¹⁾	4,284	4,260	4,257	- 3	-0.6%
GFB販売数量	2,498	2,570	2,565	- 5	+2.6%
調整後売上高 ²⁾	10,113	11,230	11,211	- 19	+10.9%
EBITDA	3,338	3,830	3,916	+86	+17.3%
為替中立ベース調整後売上高 ²⁾	10,113	10,930	10,925	- 5	+8.0%
為替中立ベースEBITDA	3,338	3,810	3,859	+49	+15.6%
(単位: 億円)					
EBITDA	2,930	3,020	3,125	+105	+6.7%

- 前回見込を上回りEBITDAは対前年17.3%、為替中立ベースEBITDAは15.6%成長
- ドルベースEBITDAの大幅増益が円高影響を吸収し、円ベースEBITDAは対前年6.7%成長

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2) 物流事業、製造受託等を控除

11 3)IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施



医薬事業 : 開発の進展状況

【導出先における開発状況】

JTK-303: ギリアド・サイエンシズ社(米国)へ導出、
同社で配合錠として申請中
JTT-705: ロシュ社(スイス)へ導出、
同社でPhase3
MEK阻害剤: GSK社(英国)へ導出、
同社でPhase3
抗ICOS抗体: メディムーン社(米国)へ導出、
同社でPhase1

国内に加え、海外においても臨床開始

新規臨床入り

臨床開発品目(2012年2月6日現在)

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTK-303 (経口)	HIV感染症	国内: 申請準備中 (配合錠として)	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社では申請中(配合錠として))
JTT-705 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2 海外: Phase2	
JTT-302 (経口)	脂質異常症	海外: Phase2	
JTT-751 (経口)	高リン血症	国内: Phase3	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入(鳥居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	c型肝炎	海外: Phase1	
JTT-851 (経口)	2型糖尿病	国内: Phase1 海外: Phase1	
JTZ-951 (経口)	腎性貧血	国内: Phase1 海外: Phase1	
JTE-051 (経口)	自己免疫・アレルギー疾患	海外: Phase1	

- 後期開発品が充実(JT導入品目1品目、海外導出品目3品目がPh3以降)
- JTK-303は導出先で配合錠として申請中であり、米国FDAにおいて2012年8月27日までの審査期間の予定
- 1品目が新規臨床入り、2品目が国内に加え、新たに海外臨床開始



医薬事業：2012年3月期 第3四半期累計実績および業績予想

【第3四半期累計実績】

(単位:億円)	2010年 4-12月期	2011年 4-12月期	増減
売上高	359	393	+33
EBITDA	-64	-78	-14
営業利益	-94	-106	-11

【業績予想】

(単位:億円)	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
売上高	469	500	505	+5	+35
EBITDA	-132	-140	-125	+15	+7
営業利益	-174	-180	-165	+15	+9

- 第3四半期累計実績：鳥居薬品の増収、開発進展に伴う鳥居薬品の研究開発費の増により減益
- 業績予想：既導出品にかかる一時金収入等を織り込み売上高を上方修正、鳥居薬品における研究 開発費の見直し等により利益も上方修正

食品事業：2012年3月期 第3四半期累計実績および業績予想

【第3四半期累計実績】

(単位:億円)	2010年 4-12月期	2011年 4-12月期	増減
売上高	2,936	2,819	-117
飲料事業	1,493	1,516	+23
加工食品事業等	1,443	1,303	-140
EBITDA	142	165	+22
営業利益	-55	-42	+12



【業績予想】

(単位:億円)	2011年3月期 実績 a	2012年3月期 前回見込 b	2012年3月期 今回見込 c	対前回見込 増減 c-b	対実績 増減 c-a
売上高	3,750	3,730	3,690	-40	-60
EBITDA	172	200	200	+0	+27
営業利益	-94	-85	-80	+5	+14



ルーツアロマブラック300g
2011年度モンドセレクション
金賞受賞

- 第3四半期累計実績：基幹ブランド「ルーツ」、ステープル(主食)の拡販による売上増があったものの、加工食品事業等における一部事業の廃止影響等により事業全体では減収、「ルーツ」のブランド価値向上に向けた広告宣伝費の増加の一方で利益率の高いステープルへの注力及びコスト削減等の収益力改善により増益
- 業績予想：加工食品事業等における減収を見込み下方修正、EBITDA予想は変更なし

全社業績：2012年3月期 第3四半期累計実績

(単位:億円)	2010年	2011年	増減				
	4-12月期 ²⁾	4-12月期		2010年	2011年	増減	
				<参考:のれん償却前>	4-12月期 ²⁾	4-12月期	
調整後売上高 ¹⁾	14,800	14,605	-1.3%				
EBITDA	4,257	4,660	+9.5%				
営業利益	2,681	3,099	+15.6%	営業利益	3,351	3,728	+11.2%
経常利益	2,492	3,016	+21.0%	経常利益	3,162	3,646	+15.3%
四半期純利益	1,199	1,604	+33.7%	四半期純利益	1,870	2,233	+19.5%

➤ 国内たばこ事業における販売数量の減少等により減収、国内・海外たばこ事業における単価上昇効果等により、EBITDA・営業利益・経常利益・四半期純利益は増益

1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施



2012年3月期 全社業績予想

(単位:億円)	2011年3月期	2012年3月期	2012年3月期	対前回見込	対実績
	実績 ²⁾	前回見込	今回見込	増減	増減率
	a	b	c	c-b	(c-a)/a
調整後売上高 ¹⁾	19,469	18,950	19,240	+290	-1.2%
EBITDA	5,425	5,370	5,730	+360	+5.6%
営業利益	3,332	3,290	3,650	+360	+9.5%
経常利益	3,130	3,180	3,530	+350	+12.8%
当期純利益	1,453	1,610	1,890	+280	+30.0%
ROE(%)	9.2%	10.4%	12.6%	+2.2pt	-
FCF*	2,997	3,120	4,340	+1,220	+44.8%
【のれん償却影響前】					
当期純利益	2,333	2,420	2,720	+300	+16.5%
EPS(円)	24,378円59銭	25,416円23銭	28,567円01銭	+3,150円78銭	+17.2%
1株当たり配当金(円)	6,800	8,000	9,000	+1,000	+32.4%
配当性向(%)	27.9%	31.5%	31.5%	-	-

*FCFの2012年3月期前回見込・今回見込には期末休日影響による国内たばこ税納付の繰越影響等期ずれ要因をそれぞれ1,000億円強、1,450億円程度含む

➤ 国内たばこ事業における販売数量見込の上方修正を主因として、売上高、EBITDA、当期純利益は上方修正
 ➤ 対前年では減収増益となる見込

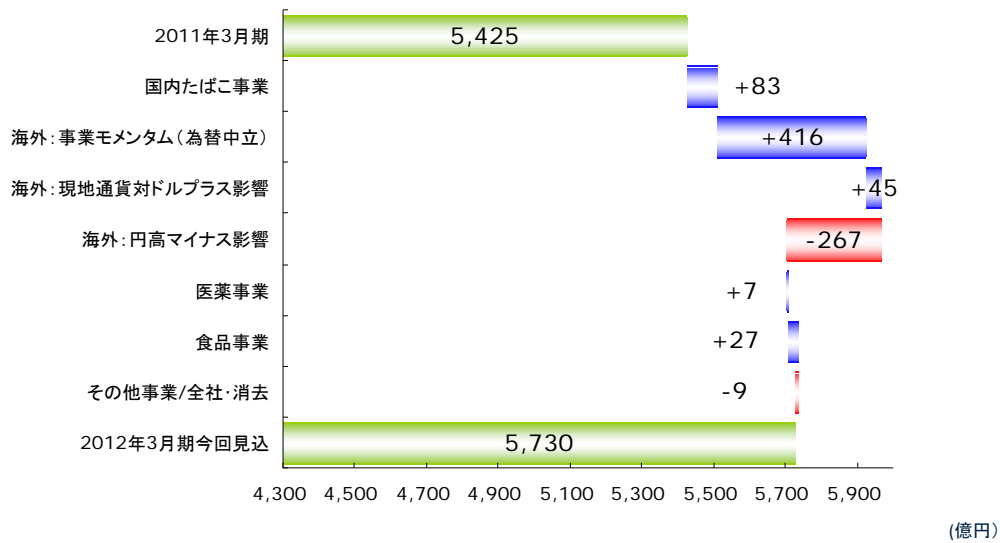
1)国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2)海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施



2012年3月期 全社業績予想

【全社EBITDA 2012年3月期見込対2011年3月期実績増減内訳】



- 対前年全社EBITDAは、国内たばこ事業の販売数量減少および海外たばこ事業の円高マイナス影響を国内・海外たばこ事業の単価効果等が上回り増益を見込む
- 厳しい事業環境の中、「JT-11」の目標である全社EBITDA年平均5%成長を上回る見込



期末配当について



- 中期的にのれん償却前当期純利益の30%を目指すとしていた目標を「JT-11」最終年度に達成の見込



次期中期経営計画について

事業環境認識

- 不確実性が増大する環境の中、変化への対応力が重要と認識

業績目標値及び目標設定方式

- 変化への対応力という観点から、中期的な定量目標は従来のような定点を3ヶ年固定する方式から転換
- 必要に応じて適宜適切に目標を設定・変更していく、毎年ローリングする方式

株主還元

- 中期的な連結配当性向を「JT-11」目標値30%から少なくとも10%向上を検討
- EPS成長率にも着目

今次、JT株の政府保有義務引下げ(1/2以上⇒1/3超)に伴う株式放出時の対応

放出株の一部について自社株買いを検討

- 株式市場への影響を緩和
- 円滑な放出に資すること

All the Detailed figures comes to
<Back up data>

<Back up data No.1> 海外たばこ事業 GFB Volume

<速報値 10-12月>

(単位:億本)	2011年 1-3月期	2011年 4-6月期	2011年 7-9月期	2011年 10-12月期	2011年 1-12月期
GFB販売数量	558 (+2.1%)	662 (+4.0%)	706 (+5.8%)	638 (-1.6%)	2,565 (+2.6%)
Winston	280 (+3.1%)	335 (+4.6%)	363 (+10.1%)	329 (+0.1%)	1307 (+4.5%)
Camel	90 (-5.7%)	107 (-0.5%)	111 (-2.0%)	97 (-7.4%)	405 (-3.8%)
Mild Seven	51 (+16.4%)	47 (-3.4%)	47 (-5.2%)	44 (-13.2%)	189 (-1.9%)
B&H	25 (-1.1%)	28 (+0.6%)	28 (+6.1%)	26 (-7.2%)	106 (-0.5%)
Silk Cut	10 (-9.3%)	10 (-8.9%)	10 (-9.8%)	9 (-12.8%)	40 (-10.2%)
LD	78 (+5.5%)	105 (+13.2%)	116 (+14.6%)	105 (+10.7%)	405 (+11.4%)
Sobranie	2 (-33.5%)	3 (+57.9%)	4 (-8.3%)	4 (+3.9%)	13 (-0.6%)
Glamour	22 (-0.6%)	27 (+1.8%)	27 (-13.5%)	23 (-11.1%)	100 (-6.4%)



<Back up data No.2> 海外たばこ事業

2011年10-12月 4クラスター別販売動向

【対前年同期販売数量¹⁾成長率】

	2011 1-3月期	2011 4-6月期	2011 7-9月期	2011 10-12月期	2011 1-12月期
計	+0.5%	-0.2%	-0.0%	-2.6%	-0.6%
South & West Europe	-9.7%	+0.7%	+1.5%	-8.7%	-3.8%
North & Central Europe	+1.1%	-1.0%	+4.2%	-3.1%	+0.3%
CIS+	+0.7%	-3.1%	-4.4%	-3.5%	-2.8%
Rest-of-the-World	+5.3%	+5.2%	+6.0%	+2.5%	+4.7%

【対前年同期GFB販売数量成長率】

計	+2.1%	+4.0%	+5.8%	-1.6%	+2.6%
South & West Europe	-9.1%	+0.7%	+2.4%	-7.5%	-3.2%
North & Central Europe	+4.1%	+4.8%	+9.3%	+0.7%	+4.7%
CIS+	+7.3%	+7.8%	+5.6%	+5.5%	+6.5%
Rest-of-the-World	+3.9%	+0.5%	+8.0%	-8.8%	+0.7%

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

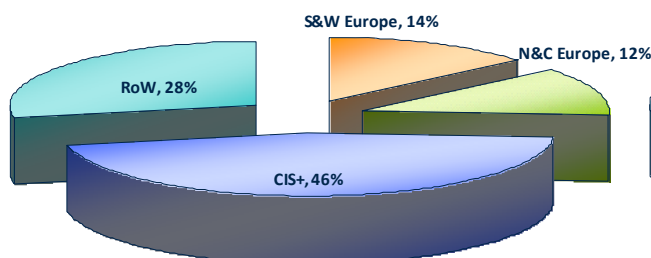
25

ひとの
ときを、
想う。 JT

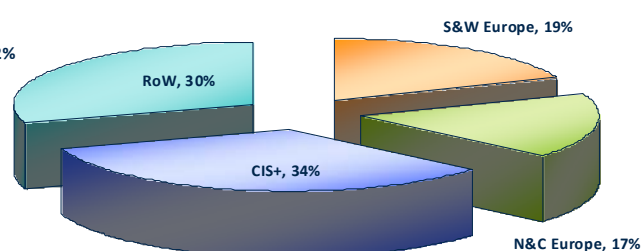
<Back up data No.3> 海外たばこ事業 4クラスター別構成比

<速報値 1-12月>

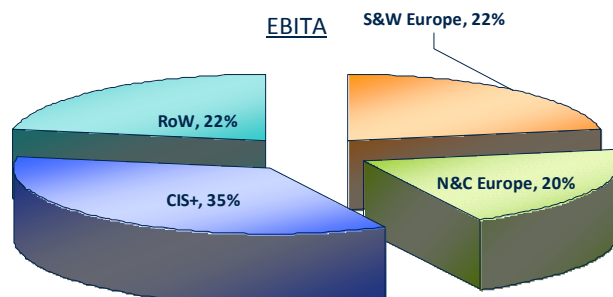
販売数量¹⁾



調整後売上高²⁾



EBITA



1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
2) 物流事業、製造受託等を控除

26

ひとの
ときを、
想う。 JT

13

<Back up data No.4> 海外たばこ事業 増税・値上情報

	増税	値上げ
Italy	11年9月 ⁱ⁾	10年10月 11年7月、9月
France	-	10年11月 11年10月
Spain	10年12月	10年12月 11年6月-9月に 一時的に値下げ
UK	11年 1月 ⁱⁱ⁾ 、3月	10年11月、 11年1月、3月、9月
Russia	11年1月 12年1月	10年12月、 11年6月、12月
Turkey	11年10月	11年10月 11年11月
Taiwan	11年9月 ⁱ⁾	11年3月-4月、9月 ⁱⁱ⁾

i) VAT課税率の引上げ

ii) 各月一部銘柄

<Back up data No.5> 海外たばこ事業 主要市場におけるシェア (3ヶ月平均)

	<u>2010年</u> <u>10-12月</u>	<u>2011年</u> <u>1-3月</u>	<u>2011年</u> <u>4-6月</u>	<u>2011年</u> <u>7-9月</u>	<u>2011年</u> <u>10-12月</u>
Italy	20.3%	20.4%	20.6%	20.8%	21.0%
France	16.2%	16.2%	16.2%	16.6%	16.5%
Spain	20.8%	20.3%	20.6%	21.7%	21.8%
UK	39.4%	39.0%	38.9%	38.8%	38.5%
Russia	36.8%	37.1%	37.2%	37.0%	36.2%
Turkey	23.0%	23.3%	23.9%	24.2%	25.1%
Taiwan	38.5%	39.3%	37.7%	38.2%	37.7%

<Back up data No.6> 海外たばこ事業 FX rate

	2010年 1-3月 期中平均 実績レート	2011年 1-3月 期中平均 実績レート	2010年 4-6月 期中平均 実績レート	2011年 4-6月 期中平均 実績レート	2010年 7-9月 期中平均 実績レート	2011年 7-9月 期中平均 実績レート	2010年 10-12月 期中平均 実績レート	2011年 10-12月 期中平均 実績レート	2010年 1-12月 期中平均 実績レート	2011年 1-12月 期中平均 実績レート
RUB/\$	29.85	29.30 (+1.9%)	30.25	28.00 (+8.0%)	30.62	29.08 (+5.3%)	30.73	31.23 (-1.6%)	30.36	29.40 (+3.3%)
GBP/\$	0.62	0.63 (-1.5%)	0.66	0.61 (+8.3%)	0.66	0.62 (+6.2%)	0.63	0.64 (-0.4%)	0.65	0.63 (+3.1%)
EUR/\$	0.70	0.75 (-6.0%)	0.75	0.70 (+8.5%)	0.79	0.71 (+12.3%)	0.74	0.74 (-0.1%)	0.75	0.72 (+3.5%)
CHF/\$	1.04	0.96 (+8.4%)	1.08	0.87 (+24.1%)	1.08	0.82 (+31.4%)	0.99	0.91 (+8.2%)	1.05	0.89 (+17.5%)
TWD/\$	32.09	29.51 (+8.7%)	31.71	28.86 (+9.9%)	32.09	29.13 (+10.2%)	31.05	30.26 (+2.6%)	31.73	29.44 (+7.8%)
円ドル	90.69	82.31 (+10.2%)	92.01	81.71 (+12.6%)	85.91	77.86 (+10.3%)	82.65	77.42 (+6.8%)	87.79	79.80 (+10.0%)

<Back up data No.7> IFRS移行に伴う財務諸表影響について(試算)

➤ 売上高・利益に関する試算

日本基準による2012年3月期業績見込について、IFRSに移行した場合の試算

(単位: 億円)	日本基準	主な調整項目						調整額 合計	IFRSによる 試算
		営業外・ 特別損 益組替	収益 組替	固定資 産関係	退職給 付関係	のれん償 却停止	その他		
売上高	25,400		-5,070					-5,070	20,330
EBITDA	5,730	-230		-20	130		10	-110	5,620
営業利益	3,650	-230		60	130	830	20	810	4,460
当期純利益	1,890			40	80	830	10	960	2,860

* 日本基準による業績予想の表示区分を用いて掲載

【参考資料】

2012年3月期 第3四半期累計実績 および 2012年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

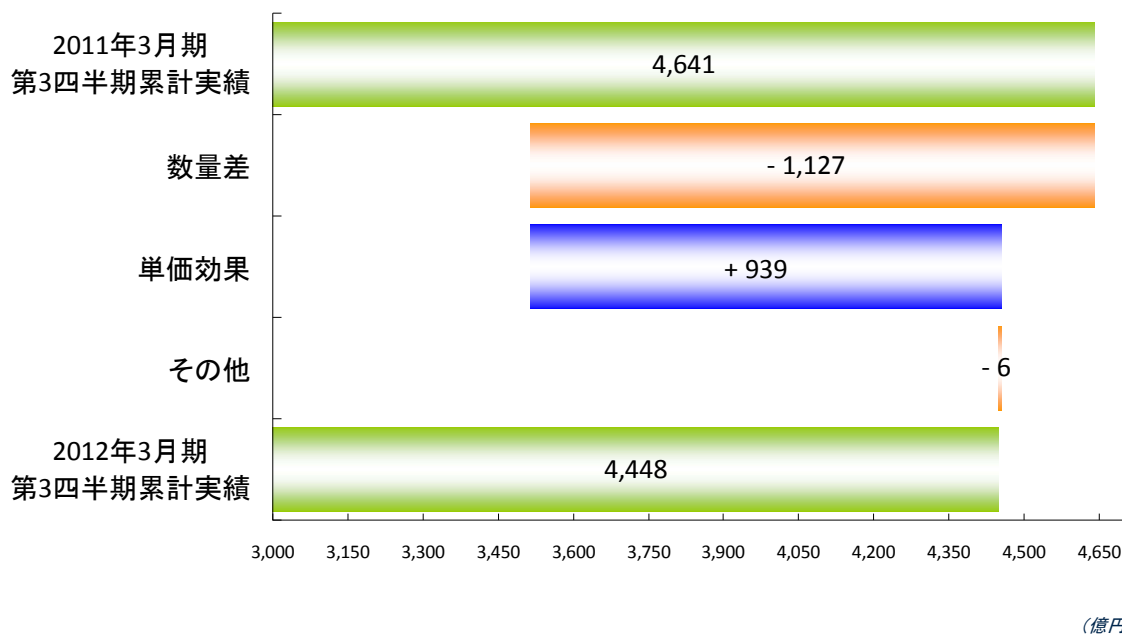
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2012年3月期 第3四半期累計実績

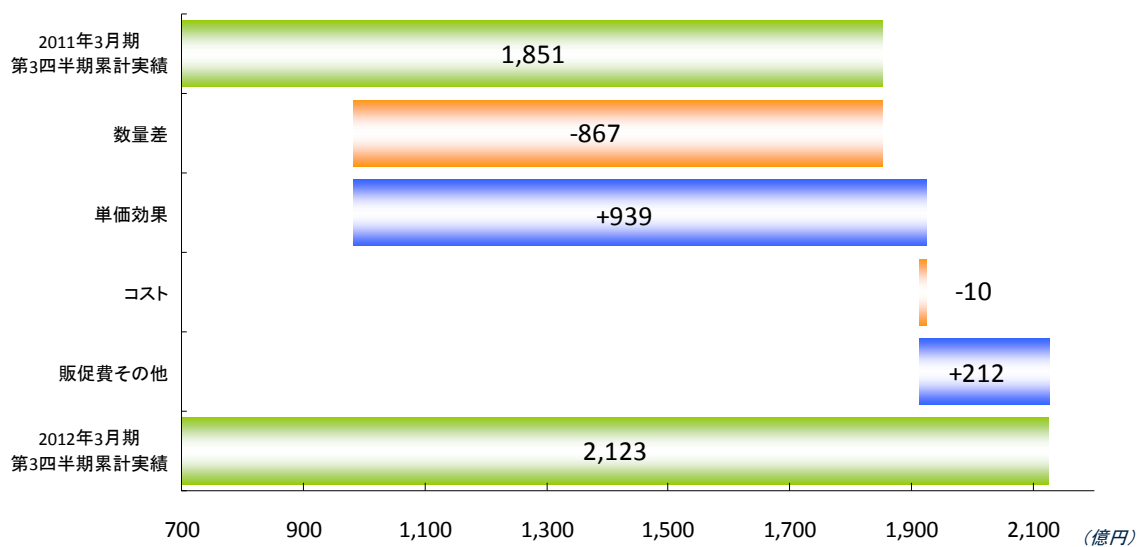
□ 国内たばこ事業 調整後売上高¹⁾



1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

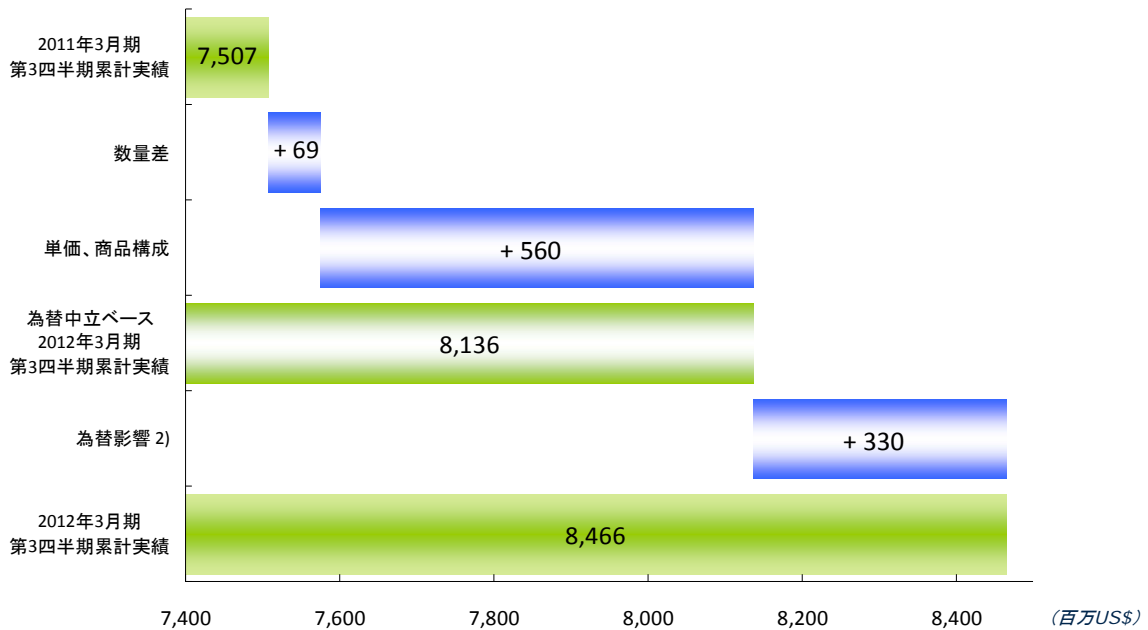
2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 国内たばこ事業 EBITDA



2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 海外たばこ事業 調整後売上高¹⁾



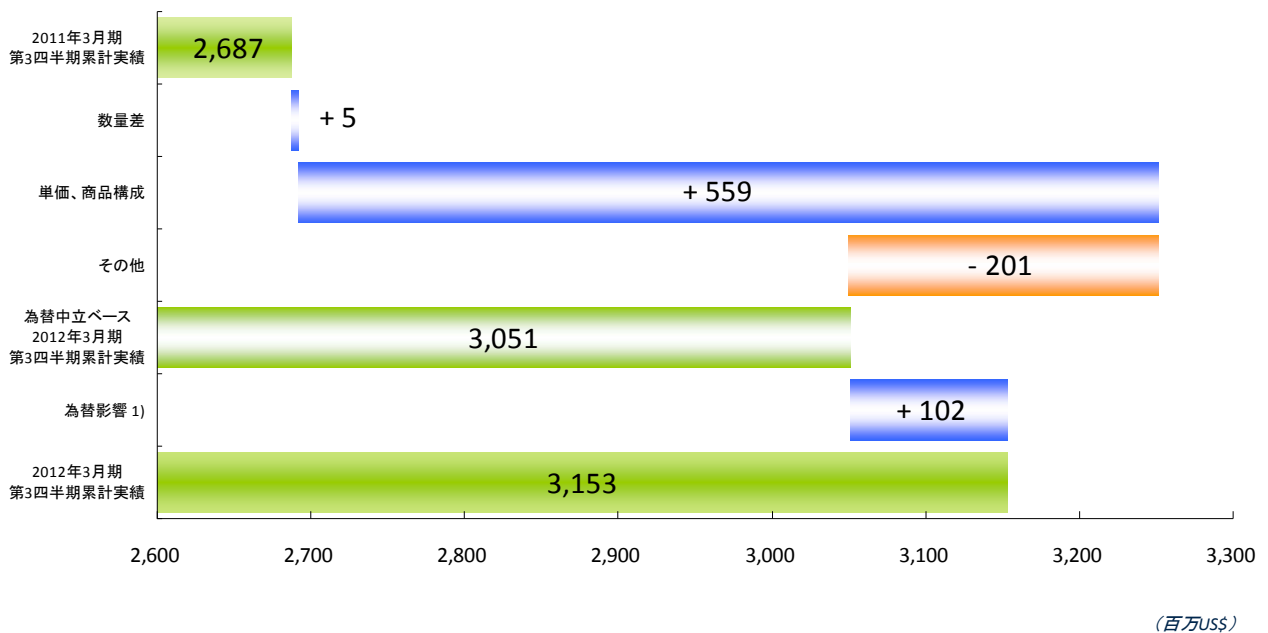
1) 物流事業、製造受託等を控除
IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

2) USドルと各現地通貨との間の為替影響



2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 海外たばこ事業 EBITDA



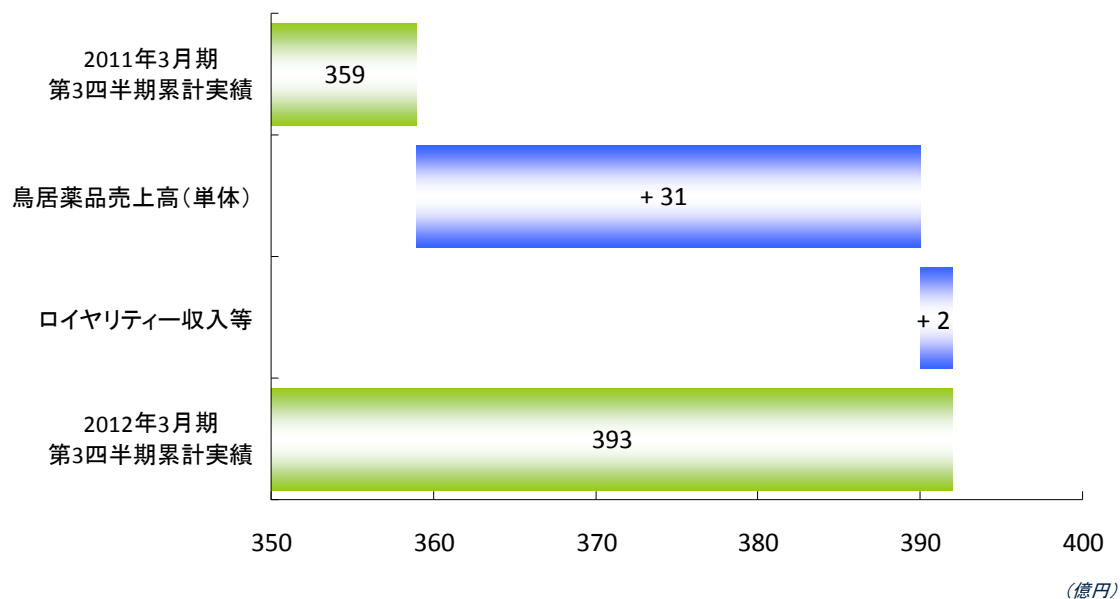
1) USドルと各現地通貨との間の為替影響

2) IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施



2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 医薬事業 売上高

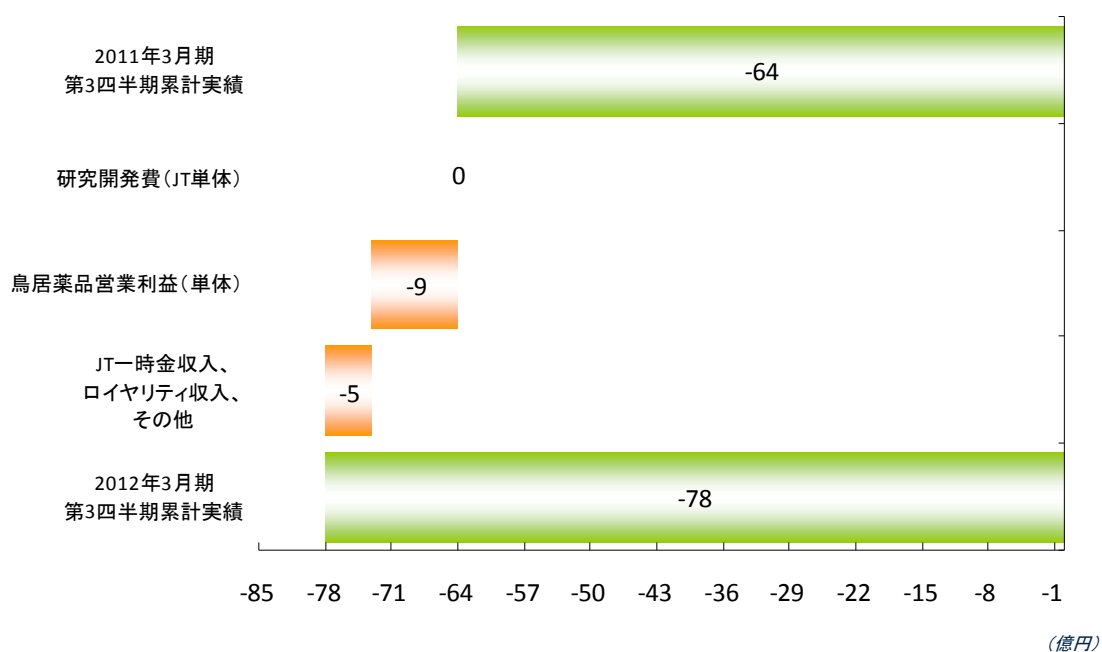


7



2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 医薬事業 EBITDA

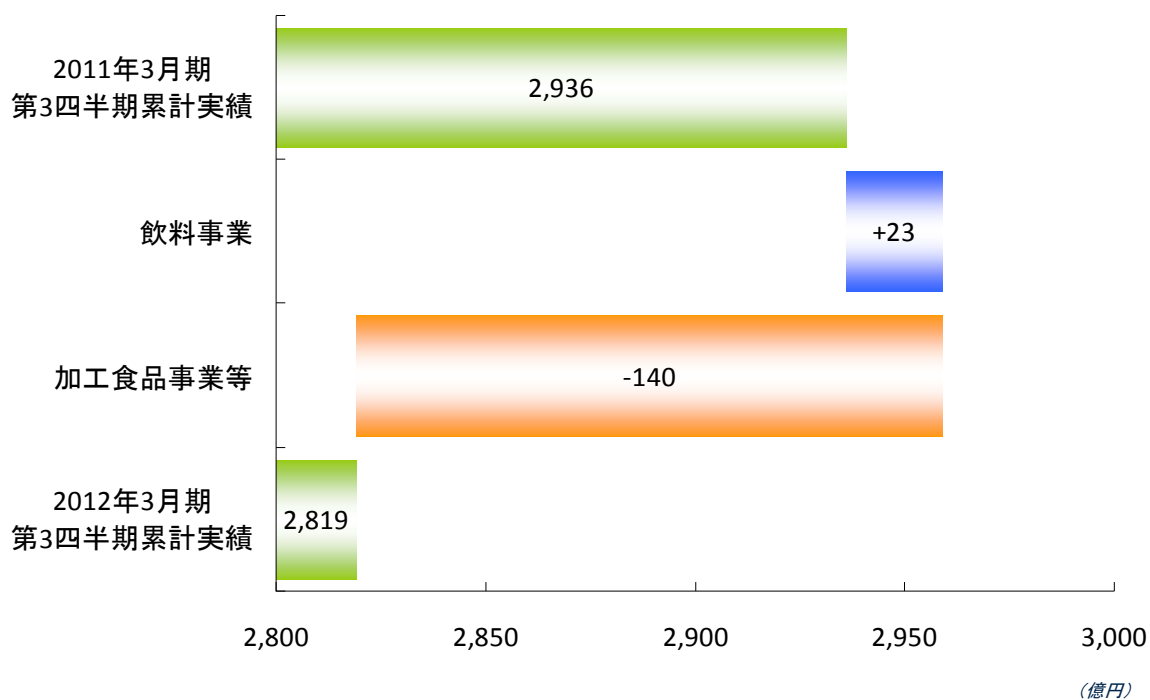


8



2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 食品事業 売上高



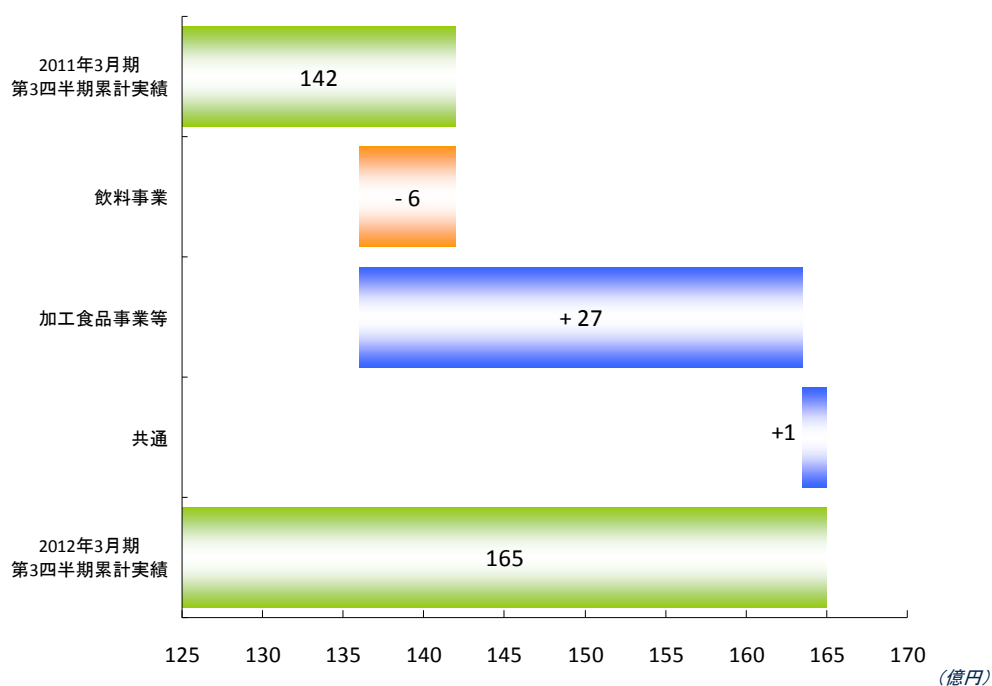
9

(億円)



2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 食品事業 EBITDA



10

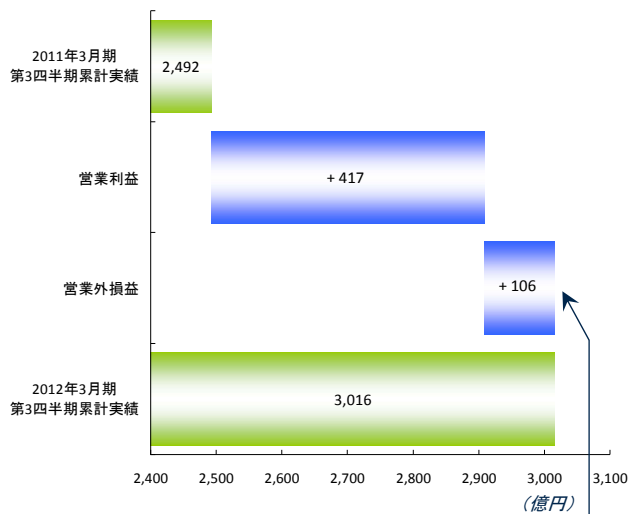
ひとの
ときを、
想う。



20

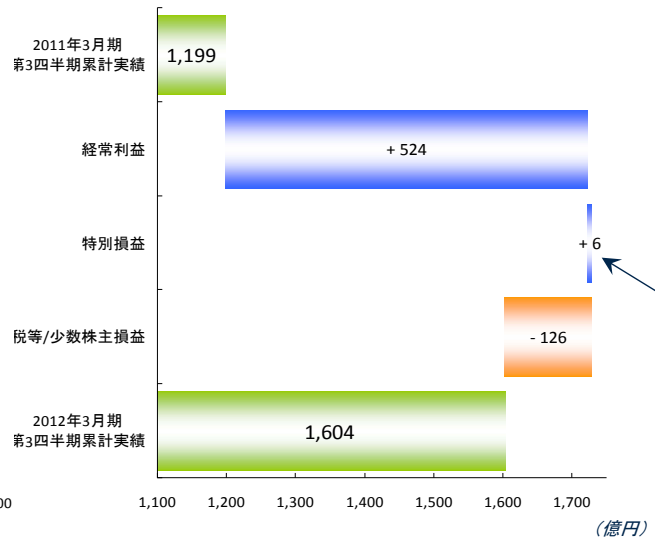
2012年3月期 第3四半期累計実績

□ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 9億円
支払利息の減少: 22億円

□ 四半期純利益

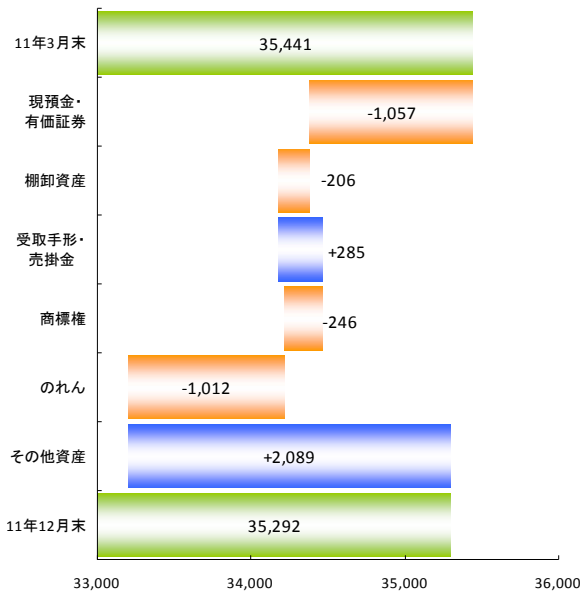


改善要因: 前年のカナダ行政法規違反過料計上: 130億円
固定資産除売却損益: 190億円
悪化要因: 葉たばこ廃作協力金: 123億円
東日本大震災による損失: 122億円
事業構造強化費用の増(Hainburg工場閉鎖等): 63億円等

(このスライドは空白です)

2012年3月期 第3四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 資産の部 2011年3月末・12月末比較



(億円)

□流動資産: +1,237億円

【現預金・有価証券減少】△1,057億円

・譲渡性預金の解約(運用先変更)による減少

【受取手形・売掛金増加】+285億円

・国内たばこ事業、海外たばこ事業における売上高の増

【その他流動資産増加】+2,216億円

・現先運用の増加

□固定資産△1,385億円

【のれんの減少】△1,012億円

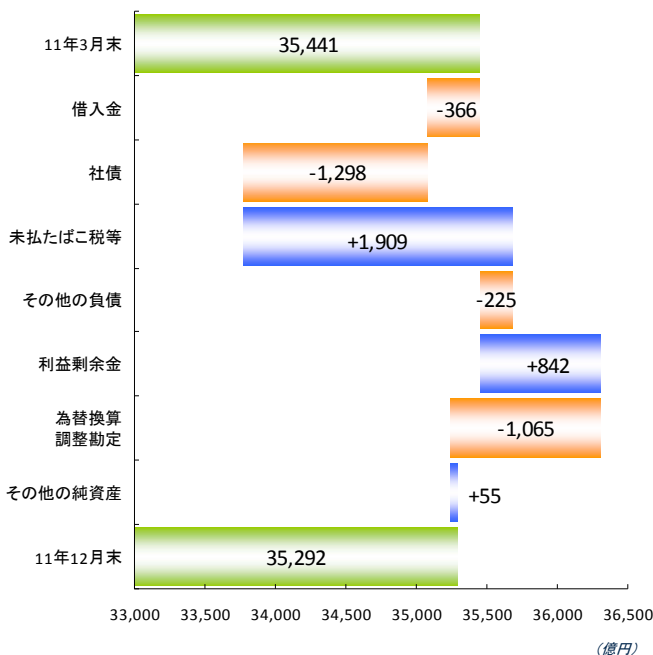
・海外たばこ事業における為替影響

【商標権の減少】△246億円

・海外たばこ事業における為替影響

2012年3月期 第3四半期末 連結貸借対照表のポイント

□ 負債・純資産の部 2011年3月末・12月末比較



(億円)

□負債合計: +18億円

【借入金減少】△366億円

【社債減少】△1,298億円

【未払たばこ税等の増】+1,909億円

・国内たばこ事業における年末休日影響による未払たばこ税の増加、海外たばこ事業における納付時期のずれ、等

□純資産合計: △167億円

【利益剰余金の増加】+842億円

・増加要因: 当期純利益の計上

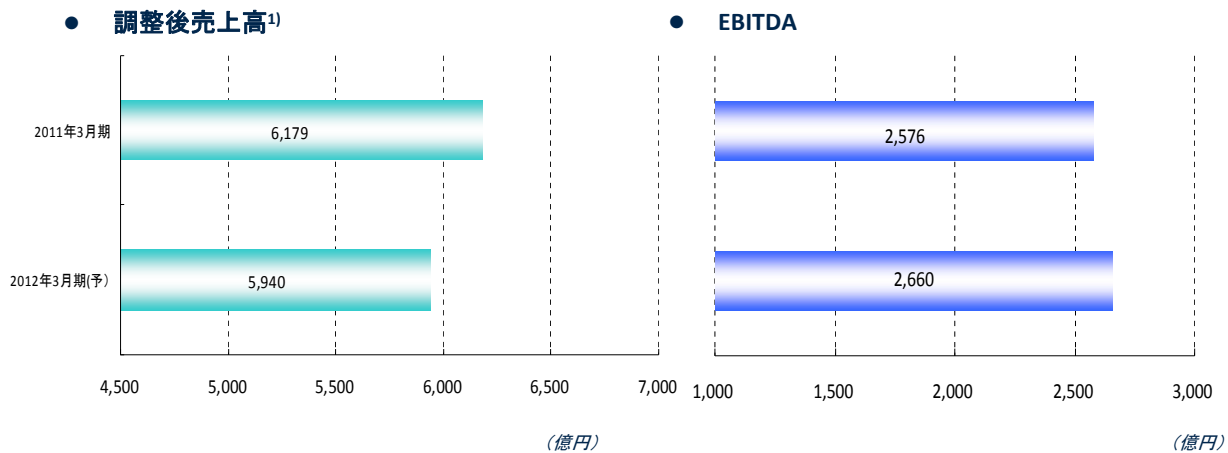
・減少要因: 配当金の支払い

【為替換算調整勘定】△1,065億円

・海外たばこ事業における為替影響

2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 国内たばこ事業 調整後売上高¹⁾/EBITDA



【主な減少要因】

- 増税定改および震災影響によるJT販売数量の減:
1,346億本⇒1,080億本

【主な増加要因】

- 単価上昇効果

【主な減少要因】

- 増税定改および震災影響によるJT販売数量の減:
1,346億本⇒1,080億本

【主な増加要因】

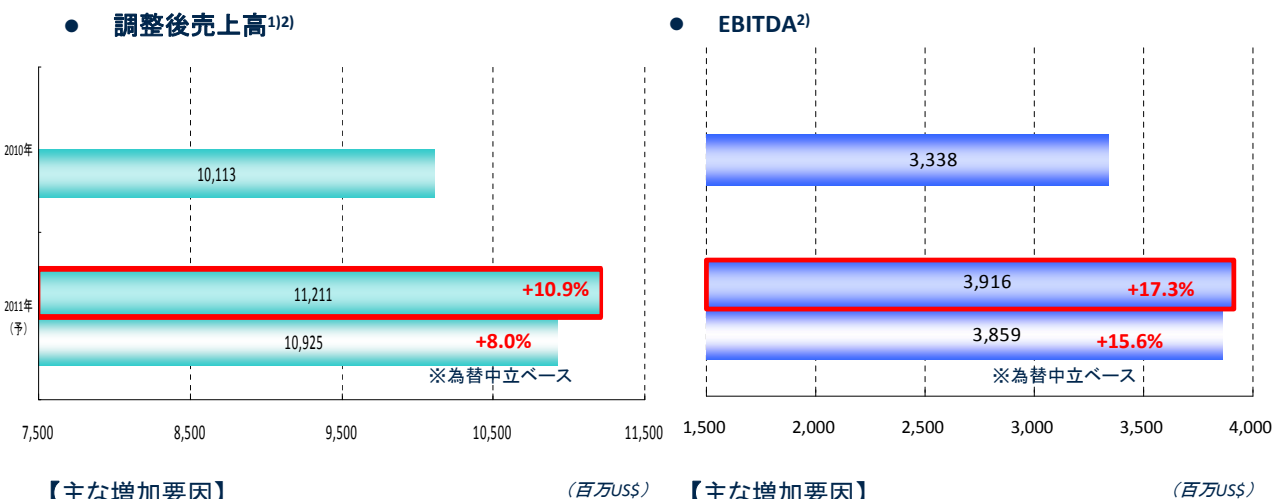
- 単価上昇効果

1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除



2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 海外たばこ事業 調整後売上高¹⁾²⁾(\$ベース)/EBITDA²⁾(\$ベース)



【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果
- 為替影響(現地通貨対ドル)

【主な減少要因】

- 数量影響

【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果
- 為替影響(現地通貨対ドル)

【主な減少要因】

- 数量影響

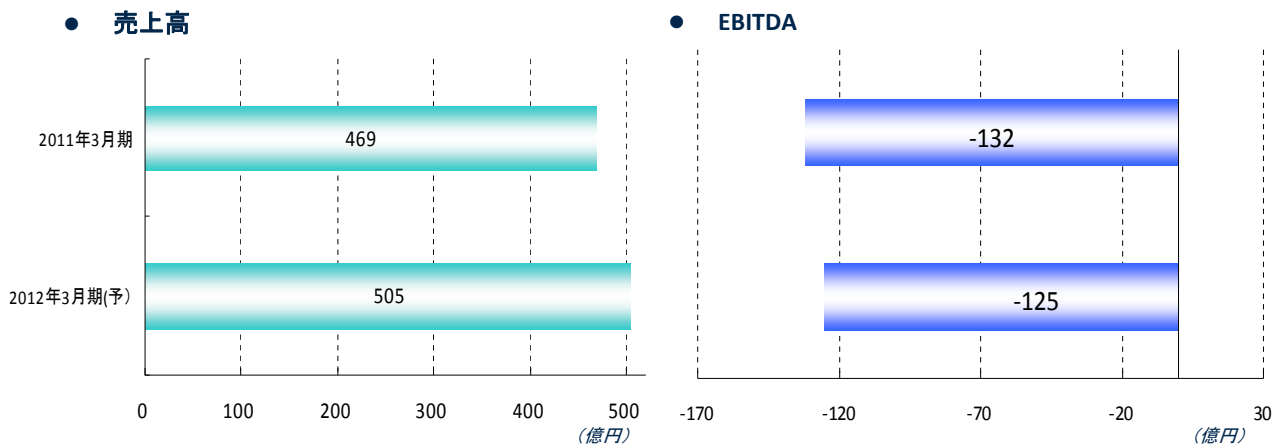
1) 物流事業、製造受託等を控除

2) IFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施



2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 医薬事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の売上高: 453億円→488億円(+34億円)

【主な増加要因】

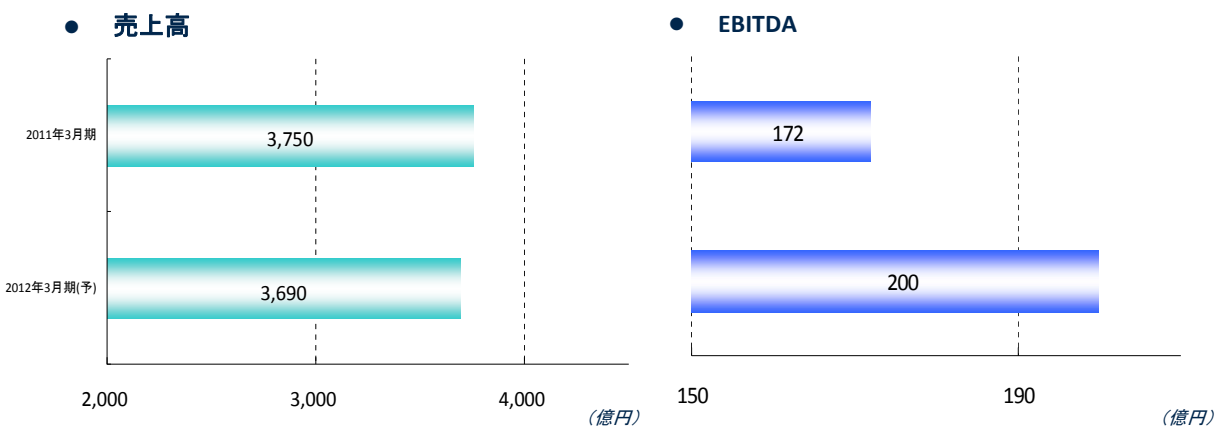
- 鳥居薬品の増益

【主な減少要因】

- 研究開発費の増加

2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 食品事業 売上高/EBITDA



【主な増加要因】

- 飲料事業における基幹ブランド「ルーツ」への注力
- 加工食品事業等における注力分野への戦力集中による成長

【主な減少要因】

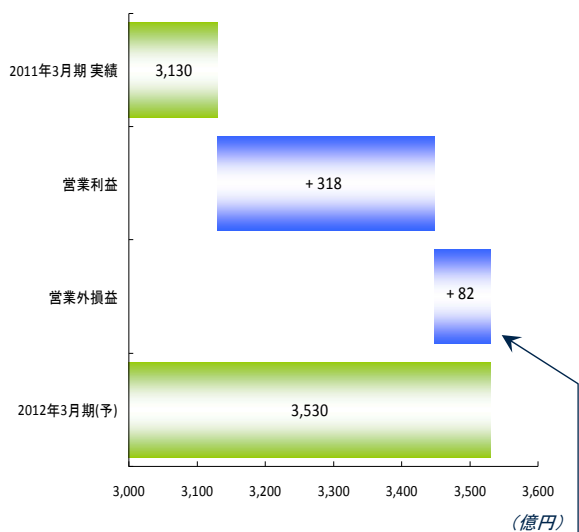
- 加工食品事業等における前年度の精白米等の卸売事業廃止・一部子会社を連結対象外とした影響等

【主な増加要因】

- 基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化、ステープル(主食)、調味料(酵母エキス等)への戦力集中およびコスト削減

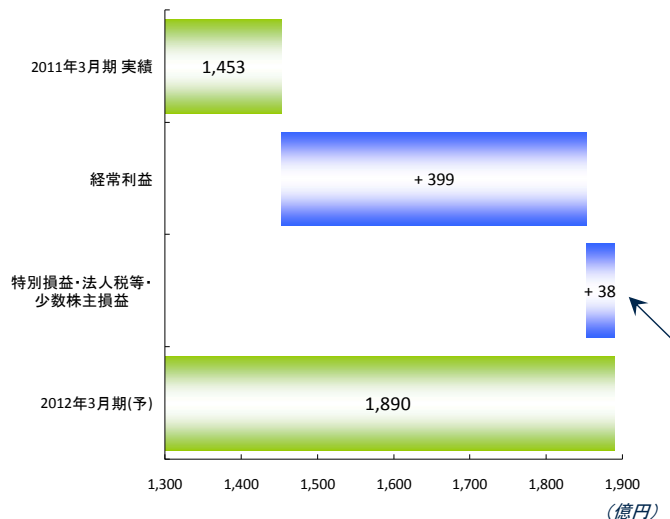
2012年3月期 業績予想_対前年度実績

□ 経常利益



改善要因: 金融損益の改善等

□ 当期純利益



改善要因: 固定資産除売却損益の改善
前年のカナダ行政法規違反過料計上: 128億円
震災保険金収入

悪化要因: 葉たばこ廃作協力金等計上: 143億円
事業構造強化費用(Hainburg工場閉鎖等)の増加
前年の投資有価証券売却益計上: 53億円
東日本大震災による損失の増加

海外たばこ事業におけるIFRSの採用に伴い、2011年3月期実績についても遡及修正を実施

2012年3月期第3四半期決算データ集(1)

・日本の会計基準を採用しています。
 ・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更しました。
 ・海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準に必要なコンバージョンを行い開示しています。変更に関し、過年度遡及修正に係る会計基準に従い、2010年の実績について遡及修正した数値を新ベースとして掲載しています。
 ・海外たばこ事業については、会計期間が11-12月であるため、第3四半期決算データに載っている数値は全て1-9月期実績となります。

1.業績ハイライト

(単位:億円、%)

	10年12月期 (旧)	10年12月期 (新)	11年12月期 (新)	増減 (新)	増減率 (新)
売上高	18,811	18,401	19,471	+1,069	+5.8%
調整後売上高 ^(注)	14,876	14,800	14,605	-195	-1.3%
EBITDA	4,245	4,257	4,660	+403	+9.5%
営業利益	2,645	2,681	3,099	+417	+15.6%
経常利益	2,484	2,492	3,016	+524	+21.0%
四半期純利益	1,195	1,199	1,604	+404	+33.7%

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等および海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

FCF	2,594	2,594	3,915	+1,320	+50.9%
-----	-------	-------	-------	--------	--------

(参考: のれんの償却影響を除く主要利益) (単位: 億円、%)

営業利益	3,340	3,351	3,728	+376	+11.2%
経常利益	3,178	3,162	3,646	+483	+15.3%
四半期純利益	1,889	1,870	2,233	+363	+19.5%

2.売上高の内訳

(単位:億円、%)

	10年12月期 (旧)	10年12月期 (新)	11年12月期 (新)	増減 (新)	増減率 (新)
全社売上高	18,811	18,401	19,471	+1,069	+5.8%
国内たばこ事業	7,665	7,665	8,773	+1,108	+14.5%
海外たばこ事業	7,704	7,294	7,363	+68	+0.9%
調整後全社売上高 ^(注1/注2)	14,876	14,800	14,605	-195	-1.3%
国内たばこ事業 ^(注1)	4,641	4,641	4,448	-193	-4.2%
海外たばこ事業 ^(注2)	6,793	6,717	6,823	+105	+1.6%
医薬事業	359	359	393	+33	+9.4%
食品事業	2,936	2,936	2,819	-117	-4.0%
飲料事業	1,493	1,493	1,516	+23	+1.5%
加工食品事業等	1,443	1,443	1,303	-140	-9.7%
その他の売上高	144	144	120	-24	-16.8%

(参考: 海外たばこ事業 ドルベース 調整後売上高^(注2)) (単位: 百万ドル、%)

調整後売上高	7,591	7,507	8,466	+960	+12.8%
為替中立ベース	7,591	7,507	8,136	+629	+8.4%

(注1): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績

(注2): 海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除した実績

3.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円、%)

	10年12月期 (旧)	10年12月期 (新)	11年12月期 (新)	増減 (新)	増減率 (新)
販売費及び一般管理費	5,814	5,784	5,732	-51	-0.9%
人件費 ^(注)	1,573	1,568	1,656	+88	+5.6%
広告宣伝費	147	147	138	-8	-6.0%
販売促進費	1,012	1,012	979	-33	-3.3%
研究開発費	374	374	396	+22	+6.0%
減価償却費	458	458	420	-38	-8.4%
その他	2,246	2,222	2,141	-81	-3.6%

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4.事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円、%)

	10年12月期 (旧)	10年12月期 (新)	11年12月期 (新)	増減 (新)	増減率 (新)
全社EBITDA	4,245	4,257	4,660	+403	+9.5%
営業利益	2,645	2,681	3,099	+417	+15.6%
減価償却費 ^(注2)	1,600	1,575	1,561	-14	-0.9%
国内たばこ事業EBITDA	1,851	1,851	2,123	+271	+14.6%
営業利益	1,514	1,514	1,808	+293	+19.4%
減価償却費 ^(注2)	336	336	314	-22	-6.7%
海外たばこ事業EBITDA	2,367	2,405	2,540	+135	+5.6%
営業利益	1,368	1,430	1,562	+131	+9.2%
減価償却費 ^(注2)	998	974	978	+3	+0.4%
医薬事業EBITDA	-64	-64	-78	-14	-
営業利益	-94	-94	-106	-11	-
減価償却費 ^(注2)	30	30	28	-2	-8.1%
食品事業EBITDA	142	142	165	+22	+16.1%
営業利益	-55	-55	-42	+12	-
減価償却費 ^(注2)	197	197	207	+9	+5.1%
その他/全社・消去EBITDA	-51	-77	-90	-12	-
営業利益	-88	-114	-123	-9	-
減価償却費 ^(注2)	36	36	33	-2	-7.8%

(参考: 海外たばこ事業 ドルベース EBITDA^(注2)) (単位: 百万ドル、%)

EBITDA	2,646	2,687	3,153	+465	+17.3%
為替中立ベース	2,646	2,687	3,051	+363	+13.5%

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

5.主要投資案件の諸償却費

(単位:百万ドル)

のれん償却費	10年9月期	11年9月期	償却年数
海外たばこ事業			
旧RJRI及び旧Gallaher関連	659	684	20年

(注): 旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む

のれん償却終了は、旧RJRIが19年4月、旧Gallaherが27年3月

(単位:億円)

食品事業	10年12月期	11年12月期	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	68	68	5年

(注): のれん償却終了は、12年12月

商標権償却費

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	10年9月期	11年9月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	180	191	主に20年

(注): 商標権償却終了は、旧RJRIが19年4月、旧Gallaherが27年3月

6.資本的支出

(単位:億円、%)

	10年12月期 (旧)	10年12月期 (新)	11年12月期 (新)	増減 (新)	増減率 (新)
資本的支出	1,045	1,045	779	-265	-25.4%
国内たばこ事業	367	367	353	-14	-3.9%
海外たばこ事業 ^(注)	426	426	257	-168	-39.5%
医薬事業	23	23	18	-4	-18.3%
食品事業	208	208	120	-87	-41.9%
その他/全社・消去	20	20	29	+9	+45.5%

7.手元流動性^(注)

(単位:億円)

	11年3月末	11年12月末	増減
手元流動性	2,765	4,017	+1,251

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現金

8.有利子負債^(注)

(単位:億円)

	11年3月末	11年12月末	増減
有利子負債	7,087	5,406	-1,680

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金+リース債務

9.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	10年12月期	11年12月期	増減	増減率	
JT販売数量 ^(注)	1,068	808	-259	-24.3%	億本
国内総需要	1,658	1,509	-148	-9.0%	億本
JT販売数量シェア	64.4%	53.6%	-10.8ppt		
JT千本当売上高	4,335	5,497	+1,162	+26.8%	円

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2010年12月期27億本、2011年12月期28億本。

【海外たばこ事業】	10年9月期	11年9月期	増減	増減率	
販売数量 ^(注)	3,195	3,196	+1	+0.0%	億本
GFB販売数量	1,851	1,927	+76	+4.1%	億本
円/USドルレート	89.49	80.59	-8.90	11.0%	円高
RUB/USドルレート	30.24	28.79	-1.45	5.0%	RUB高
GBP/USドルレート	0.65	0.62	-0.03	4.3%	GBP高
EUR/USドルレート	0.75	0.72	-0.03	4.7%	EUR高
CHF/USドルレート	1.07	0.89	-0.18	20.7%	CHF高
TWD/USドルレート	31.96	29.16	-2.80	9.6%	TWD高

(注) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	10年12月期	11年12月期	増減	増減率	
研究開発費(単体)	163	162	+0	-0.3%	億円

【食品事業-飲料事業】	11年3月末	11年12月末	増減	
自動販売機台数 ^(注)	265,000	266,000	+1,000	台
うちマーキング機	33,000	33,000	+0	台
うちコンビニ機	83,000	86,000	+3,000	台

(注) 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」は当社所有の自動販売機を指し、「コンビニ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。
 東日本大震災の被災により、被災エリアの自動販売機台数は被災前の設置確認台数を集計。

2012年3月期連結業績予想(前回見込との比較)

- ・日本の会計基準を採用しています。
- ・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
- ・海外たばこ事業については、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています(例:のれん償却)。

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
売上高 ^(注1)	24,970	25,400	+430	+1.7%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	18,950	19,240	+290	+1.5%
EBITDA	5,370	5,730	+360	+6.7%
営業利益	3,290	3,650	+360	+10.9%
経常利益	3,180	3,530	+350	+11.0%
当期純利益	1,610	1,890	+280	+17.4%
ROE(株主資本利益率)	10.4%	12.6%	+2.2ppt	
フリーキャッシュフロー	3,120	4,340	+1,220	+39.1%

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,420	2,720	+300	+12.4%
EPS(円)	25,416.23	28,567.01	+3,150.78	+12.4%
1株当たり配当金(円)	8,000	9,000	+1,000	+12.5%
配当性向	31.5%	31.5%	+0.0ppt	

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
売上高 ^{(注1)(注2)}	24,970	25,400	+430	+1.7%
国内たばこ事業 ^(注1)	11,000	11,380	+380	+3.5%
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	9,580	9,660	+80	+0.8%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	18,950	19,240	+290	+1.5%
国内たばこ事業 ^(注3)	5,690	5,940	+250	+4.4%
海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)}	8,870	8,945	+75	+0.8%
医薬事業	500	505	+5	+1.0%
食品事業	3,730	3,690	-40	-1.1%
その他の売上高	160	160	+0	+0.0%
EBITDA ^{(注2)(注5)}	5,370	5,730	+360	+6.7%
国内たばこ事業	2,440	2,660	+220	+9.0%
海外たばこ事業 ^(注2)	3,020	3,125	+105	+3.5%
医薬事業	-140	-125	+15	-
食品事業	200	200	+0	+0.0%
その他/全社・消去	-150	-130	+20	-
営業利益 ^(注2)	3,290	3,650	+360	+10.9%
国内たばこ事業	1,990	2,220	+230	+11.6%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,760	1,845	+85	+4.8%
医薬事業	-180	-165	+15	-
食品事業	-85	-80	+5	-
その他/全社・消去	-190	-170	+20	-
減価償却費 ^{(注2)(注6)}	2,080	2,080	+0	+0.0%
国内たばこ事業	450	440	-10	-2.2%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,260	1,280	+20	+1.6%
医薬事業	40	40	+0	+0.0%
食品事業	285	280	-5	-1.8%
その他/全社・消去	40	40	+0	+0.0%

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
資本的支出 ^(注2)	1,340	1,240	-100	-7.5%
国内たばこ事業	635	590	-45	-7.1%
海外たばこ事業 ^(注2)	430	390	-40	-9.3%
医薬事業	30	30	+0	+0.0%
食品事業	200	190	-10	-5.0%
その他/全社・消去	40	30	-10	-25.0%

(参考)

(単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)}	11,230	11,211	-19	-0.2%
調整後売上高	10,930	10,925	-5	-0.0%
為替中立ベース海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)(注7)}	10,930	10,925	-5	-0.0%
調整後売上高	10,930	10,925	-5	-0.0%
海外たばこ事業EBITDA ^(注2)	3,830	3,916	+86	+2.2%
為替中立ベース海外たばこ事業EBITDA ^{(注2)(注7)}	3,810	3,859	+49	+1.3%

(注1):たばこ税相当額を控除

(注2):海外たばこ事業の決算期は1-12月

(注3):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注4):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除

(注5): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注6)

(注6):減価償却費=有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

(注7):2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業 (単位:億本)

	前回見込	今回見込	増減	増減率
販売数量	1,030	1,080	+50	+4.9%

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	前回見込	今回見込	増減	増減率	
総販売数量※	4,260	4,257	-3	-0.1%	億本
GFB販売数量	2,570	2,565	-5	-0.2%	億本
円/USドルレート	79.00	79.80	+0.80	1.0%	安
RUB/USドルレート	30.00	29.40	-0.60	2.0%	高
GBP/USドルレート	0.62	0.63	+0.01	1.1%	安
EUR/USドルレート	0.71	0.72	+0.01	1.5%	安
CHF/USドルレート	0.90	0.89	-0.00	0.5%	高
TWD/USドルレート	29.00	29.44	+0.44	1.5%	安

※製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	930	903	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業

(単位:億円)

	前回見込	今回見込	償却年数
テーブルマーク関連	90	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

海外たばこ事業 (単位:百万ドル)

	前回見込	今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	250	250	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2012年3月期連結業績予想(前期実績比較)

- ・日本の会計基準を採用しています。
- ・従前はたばこ税相当額については売上高および売上原価に含めていましたが、たばこ税相当額を控除する方法に変更いたしました。
- ・海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンバージョンを行い開示しています(例:のれん償却)。米国会計基準からIFRSへの変更に関し、過年度遡及修正に係る会計基準に従い、2010年の実績について遡及修正した数値を新ベースとして掲載しています。

(単位:億円、%)

	11年3月期 実績(旧)	11年3月期 実績(新)	12年3月期 見込	増減	増減率
売上高 ^(注1)	24,861	24,326	25,400	+1,074	+4.4%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	19,566	19,469	19,240	-230	-1.2%
EBITDA	5,411	5,425	5,730	+304	+5.6%
営業利益	3,286	3,332	3,650	+318	+9.5%
経常利益	3,124	3,130	3,530	+399	+12.8%
当期純利益	1,449	1,453	1,890	+436	+30.0%
ROE(株主資本利益率)	9.2%	9.2%	12.6%	+3.4ppt	
フリーキャッシュフロー	2,997	2,997	4,340	+1,343	+44.8%

(参考:のれんの償却影響を除く)

当期純利益	2,360	2,333	2,720	+386	+16.5%
EPS(円)	24,657.57	24,378.59	28,567.01	+4,188.42	+17.2%
1株当たり配当金(円)	6,800	6,800	9,000	+2,200	+32.4%
配当性向	27.6%	27.9%	31.5%	+3.6ppt	

事業セグメント別業績予想

(単位:億円、%)

	11年3月期 実績(旧)	11年3月期 実績(新)	12年3月期 見込	増減	増減率
売上高 ^{(注1)(注2)}	24,861	24,326	25,400	+1,074	+4.4%
国内たばこ事業 ^(注1)	10,278	10,278	11,380	+1,101	+10.7%
海外たばこ事業 ^{(注1)(注2)}	10,170	9,635	9,660	+25	+0.3%
調整後売上高 ^{(注2)(注3)(注4)}	19,566	19,469	19,240	-230	-1.2%
国内たばこ事業 ^(注3)	6,179	6,179	5,940	-239	-3.9%
海外たばこ事業 ^{(注2)(注4)}	8,974	8,877	8,945	+67	+0.8%
医薬事業	469	469	505	+35	+7.5%
食品事業	3,750	3,750	3,690	-60	-1.6%
その他の売上高	192	192	160	-32	-16.8%
EBITDA ^{(注2)(注5)}	5,411	5,425	5,730	+304	+5.6%
国内たばこ事業	2,576	2,576	2,660	+83	+3.2%
海外たばこ事業 ^(注2)	2,881	2,930	3,125	+195	+6.7%
医薬事業	-132	-132	-125	+7	-
食品事業	172	172	200	+27	+15.8%
その他/全社・消去	-87	-121	-130	-9	-
営業利益 ^(注2)	3,286	3,332	3,650	+318	+9.5%
国内たばこ事業	2,129	2,129	2,220	+91	+4.3%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,561	1,640	1,845	+205	+12.5%
医薬事業	-174	-174	-165	+9	-
食品事業	-94	-94	-80	+14	-
その他/全社・消去	-135	-168	-170	-1	-
減価償却費 ^{(注2)(注6)}	2,124	2,093	2,080	-14	-0.6%
国内たばこ事業	447	447	440	-8	-1.7%
海外たばこ事業 ^(注2)	1,320	1,289	1,280	-10	-0.7%
医薬事業	41	41	40	-1	-3.5%
食品事業	266	266	280	+13	+4.9%
その他/全社・消去	47	47	40	-8	-16.3%

(単位:億円、%)

資本的支出 ^(注2)	1,460	1,460	1,240	-220	-15.1%
国内たばこ事業	559	559	590	+30	+5.4%
海外たばこ事業 ^(注2)	609	609	390	-219	-36.0%
医薬事業	28	28	30	+1	+3.9%
食品事業	250	250	190	-60	-24.0%
その他/全社・消去	12	12	30	+18	+143.5%

(参考)

(単位:百万ドル、%)

	2010年 実績 (旧)	2010年 実績 (新)	2011年 見込	増減	増減率
海外たばこ事業					
調整後売上高 ^{(注2)(注4)}	10,223	10,113	11,211	+1,098	+10.9%
為替中立ベース海外たばこ事業 調整後売上高 ^{(注2)(注4)(注7)}	10,223	10,113	10,925	+812	+8.0%
海外たばこ事業EBITDA ^(注2)	3,282	3,338	3,916	+578	+17.3%
為替中立ベース 海外たばこ事業EBITDA ^{(注2)(注7)}	3,282	3,338	3,859	+522	+15.6%

(注1):たばこ税相当額を控除

(注2):海外たばこ事業の決算期は1-12月

(注3):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国等を控除

(注4):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除

(注5): EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(注5)

(注6): 減価償却費 = 有形固定資産、無形固定資産(商標権含む)、長期前払費用及びのれんの償却費

(注7): 2012年3月期の為替レートが2011年3月期と中立だった場合

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

(単位:億本、%)

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
販売数量	1,346	1,080	-266	-19.8%

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

	2010年	2011年	増減	増減率
総販売数量※	4,284	4,257	-27	-0.6%
GFB販売数量	2,498	2,565	+66	+2.6%
円/USドルレート	87.79	79.80	-7.99	10.0%高
RUB/USドルレート	30.36	29.40	-0.96	3.3%高
GBP/USドルレート	0.65	0.63	-0.02	3.1%高
EUR/USドルレート	0.75	0.72	-0.03	3.5%高
CHF/USドルレート	1.05	0.89	-0.16	17.5%高
TWD/USドルレート	31.73	29.44	-2.29	7.8%高

※製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	2010年(新)	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	881	903	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

2010年のデータについては、旧ベースは916百万ドル、新ベースでは881百万ドル

食品事業

(単位:億円)

	11年3月期	12年3月期	償却年数
テーブルマーク関連	90	90	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月

主要投資案件の商標権償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	2010年	2011年	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連等	242	250	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506	203	277	1,346
2011年度	184	324	299		

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531	4,133	5,669	22,689
2011年度	3,736	6,625	6,100		

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052	5,539	5,533	4,582
2011年度	5,444	5,516	5,509		

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税)) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1	62.7	62.6	64.1
2011年度	40.8	59.3	58.7		

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2	15.2	15.4	15.4
2011年度	9.8	14.1	14.1		

②1mg市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7	24.0	24.3	24.2
2011年度	24.7	23.9	24.1		

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1	63.3	63.5	63.7
2011年度	39.6	58.8	58.5		

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0	8.7	8.4	8.3
2011年度	3.2	6.3	6.6		

②メンソール市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3	25.7	25.3	24.3
2011年度	26.1	24.2	25.1		

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1	33.8	33.3	34.2
2011年度	12.4	26.2	26.4		

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT 440円以上製品市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7	17.4	16.7	9.3
2011年度	8.1	15.1	14.9		

②440円以上市場シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4	38.3	37.4	29.4
2011年度	37.6	36.4	37.0		

③セグメント内シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5	45.5	44.7	29.1
2011年度	21.5	41.3	40.2		

(注)：2010年10月以前は320円以上

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47	10.44	11.02	10.70
2011年度	5.41	9.19	9.29		

* キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2012年2月6日現在)

開発名(一般名など)	開発段階	主な適応症	作用機序/剤形	詳細	権利
JTK-303 (elvitegravir)	国内：申請準備中 (配合錠として)	HIV感染症	インテグラーゼ阻害 /経口	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社では申請中(配合錠として))
JTT-705 (dalcatrapib)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP(コレスチリルエステル転送蛋白)モジュレーター /経口	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-130 (granotapide)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP(ミクロソームトリグリセリド転送蛋白)阻害 /経口	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTT-302	海外：Phase2	脂質異常症	CETP(コレスチリルエステル転送蛋白)阻害 /経口	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	国内：Phase3	高リン血症	リン吸着剤 /経口	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出(鳥居薬品と共同開発)
JTK-853	海外：Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害 /経口	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	
JTT-851	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	GPR40(G蛋白質共役型受容体)作動 /経口	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	
JTZ-951	国内：Phase1 海外：Phase1	腎性貧血	HIF-PHD(低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素ドメイン含有蛋白)阻害 /経口	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	
JTE-051	海外：Phase1	自己免疫・アレルギー疾患	ITK(インターロイキン-2誘導型T細胞キナーゼ)阻害/経口	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	

*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回(2011年10月31日)公表時からの変更点:

JTE-051の海外臨床入り

JTT-851, JTZ-951の海外臨床開始